

IUHW

The gazette of the International University of Health and Welfare

第7号

発行：学校法人国際医療福祉大学
編集：広報委員会 TEL 0287-24-3000 内線7115



第二期生の入学式挙行

去る4月8日に、第二期生の入学式が、本学体育館で行われました。400人を超えるご両親などの保護者の方々、千保一夫大田原市長他のご来賓の皆様、ならびに約150人の本学教職員を前に、大谷学長・高木理事長の式辞、ご来賓の方々の励ましのお言葉に続いて、新入生565人を代表して看護学科の長井美冴子さんが力強い誓いの言葉を述べました。

＝ 目 次 ＝

	ページ		ページ
新学期を迎えて(学長)	2	図書館受入図書	4
出来事	2	報告	4
学長の日程から	2	国際医療福祉大学第1回	4
大学来訪者	2	奨学生決定	4
講演会の開催	2	大田原市より委託の在宅ケア	4
国際厚生事業団主催の国際緊急	2	事業の報告	4
保健医療援助研修に参加して	2	学科・センターだより	4
国際保健協力フィールドワーク	2	看護学科	4
・フェローシップに参加して	2	理学療法学科	4
お知らせ	2	作業療法学科	4
教務課から	2	言語聴覚障害者学科	5
学生室から	3	放射線・情報科学科	5
入試事務室から	3	学生のみなさんへ おねがい	5
イブニングタイム	3	医学教育センターの	5
特別講座の発足	3	目指すところ	5
委員会報告	3	教員紹介	5
教務委員会	3	サークル紹介	6
国際交流委員会	3	リレーエッセイ	6
広報委員会	3	編集後記	6
紀要委員会	4		



新学期を迎えて

白雪的那須連山を望むこ
こ那須野が原では、「新学期
が始まってから桜の花」
つまり遅咲きですね。しか
し遅咲きの方が花冷えに堪
えてしっかりと美しいよう
に思えます。

福沢諭吉は「世の中で一番楽しく立派なことは一生
涯をつらぬく仕事をもつことである」といっています。

しかしそれをいつ見つけ、いつ自覚するのでしょうか。
私は遅咲きでよいと思います。問題は自分の生涯
をつらぬく仕事を見つけようと思う心を持っているか
どうかです。その心をしっかり持っている限り、遅咲
きでもいつか見事に開花すると思いますね。

出来事

◇学長の日程から

- *平成8年3月1日(金)
公衆衛生審議会精神保健部会(通産省)
国立身障者リハセンター運営委員会
読売新聞医療功労賞中央選考委員会(厚生省)
- *平成8年3月11日(月)
国立保健協力出発式開会挨拶
- *平成8年3月19日(火)
フランスベッド財団理事会
- *平成8年3月26日(火)
予防医学事業中央会理事会

◇大学来訪者

- *平成8年1月16日(火)
JICA研修生22名
- *平成8年1月19日(金)
東京都衛生局薬務部業務課
- *平成8年2月8日(木)
益田市石貝学園大学設立準備委員会事務局
- *平成8年2月19日(月)
栃木県宇都宮労政事務所
- *平成8年3月13日(水)
国立国際医療センターブラジル研修生
- *平成8年4月19日(金)
北関東3県日赤事務部長会議

◇講演会の開催

「脳卒中を考える：コミュニケーション障害のリハ
ビリテーション」(講師：笹沼澄子教授)
県北医師会会長阿部敏夫院長を顧問に住民らが自
らの健康を考える「あすなろ会」(八木沢新平会長)が
主催する講演会が4月3日、佐久山地区公民館で開か

学長 大谷 藤郎



れた。講演内容は、脳卒中の結果起こる失語症や構音
障害、嚥下障害などの実態、リハビリテーションの具
体的な方法と効果などを中心とし、来年早々開設予定
の「国際医療福祉大学言語聴覚センター」の役割に及
んだ。会場を埋めた約80名の聴衆は、スライドやビデ
オを使っての分かりやすい解説に熱心に聞き入った。
最後に活発な質疑応答があり、大きな拍手で閉会した。

◇国際厚生事業団主催の国際緊急保健医療援助研修 (2月中旬～3月)に参加して

NGO等による援助活動で指導的な役割を果たす人
材育成を目的とし、厚生省とWHO協力のもとで実施
されている研修に医師、看護婦、薬剤師計8名が参加
した。国内研修を東京で2週間、海外研修をコスタリ
カ、バルバドス、ハイチで2週間、災害と対策につ
いて外国人講師の指導で英語で学んだ。海外現場で理想
施策が政治的利害により阻止された現状や貧困の中
での住民による効果的なNGO活動を視察した。協力に
は医療だけでなく社会全体の開発も考慮した幅広い視
野と活動が必要となる。多くの
学生も積極的に
研修や活動への
参加が望まれる
(看護学科2学
年 永瀬つや子)。



(全列右から2番目が永瀬さん)

◇国際保健協力フィールドワーク・フェロシップ の研修に参加して

私は、3月11日から21日まで国内研修2日間、フィ
リピン研修9日間の日程で、国際保健協力フィールド
ワーク・フェロシップ研修に参加しました。国内で
は、国際協力についてのディスカッションや結核・ハ
ンセン病の講義があり、フィリピンでは保健制度やJICA
がセブで展開しているプロジェクトの講義、保健医療
施設の見学、WHO西太平洋地域事務局を訪問しまし
た。この研修や他の参加者との交流によって、自分の
視野を広げ、また考えを深めることが出来たことを嬉
しく思っています(看護学科2学年 高野 綾)。

お知らせ

◇教務課から

新年度が始まる4月は、教務課にとって一番忙しい
ときです。オリエンテーションに履修登録、単位認定
手続き……etc 色々ありますが、学生の皆さんには、
提出物の期限を必ず守ってほしいと思います。
先日の履修登録の際も事前に期限を知らせていたにも
かかわらず、期限が過ぎてから提出に来た学生も何名
かいました。何か提出物が課されたときには、事前に

必ず掲示しますので、期限をしっかりと頭の中にインプットし、作業がともなう場合には、期限までに終了させるよう計画的に1日1日を過ごして下さい。

◇学生室から

教育後援会が発足

学生の父母ら相互の親睦と、学生生活のバックアップを目的とした「国際医療福祉大学教育後援会」がこのほど発足しました。初代会長は獨協医大教授の寺野 彰氏（言語聴覚障害学科・寺野貴代さんの父）に決定。今年度は下記のような事業を予定しています。



寺野会長

○「国際医療福祉大学教育後援会奨学金」の貸与

会員である学生の父母の不測の事故等により、家計に急変が生じ、修学が困難となった場合に奨学金を貸与します。貸与額は、年間学生納付金相当額または50万円を限度とした短期貸付の2通り。必要な事態が生じた際は、事務局窓口にご相談ください。

○クラブ・サークルへの補助金交付

○学生教育研究災害傷害保険への一括加入

○大学行事（大学祭・体育祭等）への補助金交付

◇入試事務室から

96年度学科別男女別志願者・入学者集計表

学科名	志願者			入学者		
	男子	女子	計	男子	女子	計
	人数	人数	人数	人数	人数	人数
看護学科	118	1,043	1,161	12	126	138
理学療法学科	952	842	1,794	57	46	103
作業療法学科	266	387	653	33	70	103
言語聴覚障害学科	138	371	509	19	83	102
放射線・情報科学科	670	262	932	79	40	119
計	2,144	2,905	5,049	200	365	565

◇イブニングタイム特別講座の発足

教職員学生にも開放!

〈保健医療福祉の新しい潮流〉

5月15日(水)から隔週水曜日に10回にわたって保健医療福祉に関する政策の変革が、病院施設地域にどのような影響をもたらすのかについて、外部講師や本学の教授方によって、地域の参加者に公開されます。著しい変革の時代の新しい情報をふまえて学習して戴きます。

〈図書館での文献の検索〉

こちらは、翌5月16日(木)から隔週4回です。本学

図書館長菅先生から、よりよい研究を推進するための第一歩として、溢れる情報をどう自分のものにするかについて、文献検索の方法や参考文献をどのように活用するかも講義戴きます。

委員会報告

◇教務委員会

- 1) 科目履修生、聴講生：科目履修生は科目の単位が修得できる。聴講生は単位修得が不可能である。平成8年度後期より開始予定。
- 2) 通信大学を企画中：リハビリテーションおよび看護学で、主に資格取得者を対象とした通信大学を計画中である。
- 3) 再試は原則として行わないが、教員が必要と認めた場合のみ実施。再試料1科目2000円必要。
- 4) 1年時に修得した科目の成績を4月10日に配布。成績が不可の場合は記載なし。
- 5) 学年暦、時間割の調整と学習の手引き1996年度版作成、オリエンテーションの準備、イブニングセミナーの調整など。

◇国際交流委員会

- 1) JICA公衆衛生教育セミナー研修生(14カ国)一行18名が1月16日日本の諸施設を視察され、委員が中心となり案内、説明を行いました。教育等についても話がはずみ、有意義な交流ができたと思われます。
- 2) JICA主催国際保健協力フィールドワーク・フェロシップの国内研修(5名)・海外研修(1名)に、各学科と当委員会から推薦を受けた次の学生が参加しました。
高野 綾(NS)、氏家芳彦(PT)、青柳由美子(OT)、泉 智子(ST)、林 辰晰(RT)。高野さんはフィリピンの研修にも参加しました(P2参照)。全員大いに学んだようです。
参加者は揃って4月19日に大谷学長に報告をしました。(田中美子委員長、藤沢委員同席)。
- 3) 委員会 1月11日、2月7日、3月19日に開催。

◇広報委員会

平成8年度委員会構成：◎伊藤元信(言語)、○宮尾洋子(語学)、寺沼幸子(看護)、斉藤昭彦・窪川徹(理学)、福田恵美子・菅原洋子(作業)、飯塚直美(言語)、熊野信雄・橋本光康(放射線)、横関路子(語学)、佐藤祐介(事務局)。

◎委員長、○副委員長。かっこ内は所属部門。

「IUHW」の今後の発行予定と担当者：8号(7月20日、宮尾・横関)、9号(10月20日、福田・菅原)、10号(11月20日、寺沼・熊野)、11号(12月20日、窪川・斉藤)、12号(1月20日、飯塚・橋本)。

◇紀要委員会

平成8年度の第1回紀要委員会を4月11日(火)に開催いたしました。年度が替り委員の交代がありました。森田夏実、藤沢しげ子、廣田栄子の3先生が退任され、次回から福島道子、秋山純和、大石敬子の3先生が就任いたします。退任された3先生にはご多忙の中をご協力いただき誠に有難うございました。現在、委員会では紀要創刊号の編集作業を進めているところですが、近いうちに平成8年度の紀要第2号の論文募集も開始いたします。詳細は別途ご案内いたしますが、奮ってご投稿下さいませようお願い申し上げます。

図書館受入図書

4月15日現在、寄贈図書についての受入は下記のとおりです。(順序は受入順)

福田恵美子様：リハビリテーション医学レビュー2 (1995年版)

平山番代子様：超・入門一太郎(1995)、その他
看護学科学生有志：職業としての看護(1995)、その他

浅田くに様：人間性の解体(1985)、その他
森田耕喜様：新アルファ独和辞典(1995)、その他
藤田邦夫様：2種情報処理試験合格対策全8巻(1994)
菅利信様：エンドユーザーのためのCD-ROM MEDLINE
検索法(1995)

黒澤美枝子様：生理学(1995)

丸山仁司様：理学療法概論資料集(1996)

笹沼澄子様：今日の治療指針(1996年度版)、その他
藤楓協会：国立療養所史(らい編)(1975)、その他
大谷藤郎様：こころの病と家族のこころ(1993)、その他

行天良雄様：小児疾患と文学(1989)、その他

荒井蝶子様：Applied Human Science vol.14 no.6～
日本IBM：PRO fessional Vision vol.8 no.8～

報 告

◇(遠報)

国際医療福祉大学第1回奨学生決定

本大学の学則第59条に、「本学に奨学金の制度を設けることができる。2 奨学金の支給は、品行方正で学業優秀な学生に対して行う」とあります。

2学年生560名の中から選ばれた、栄えある第1回の奨学生は以下の5名です。おめでとう。

福島 澄子(看護)、鎌倉 聡(理学)、林 由美子(作業)、泉 智子(言語)、海野 達也(放射線)。

◇大田原市より委託の在宅ケア事業の報告

「大田原市在宅ケアシステム構築のための支援事業」

(大学側責任者：荒井蝶子看護学科長)の平成7年度事業が無事終了しました。5月の連休明けに報告書が出来上りました。報告書では、大田原市在住の在宅療養児者を対象としたアンケート調査と訪問調査の結果を詳しく述べ、大田原市における在宅ケアの現状、問題点、今後の課題にも言及しました。

平成8年度は、前年度の調査結果と新たに実施するパイロットケア事業等の結果を踏まえ、在宅療養児者に対するケアシステム構想案を提示していく予定です。

学科・センターだより

◇看護学科

5月はナイチンゲールの誕生月です。

看護を学ぶもの、今年は277人になりました!!

2回生と新しい教員を迎えて、男子25人を含め年齢18歳から69歳まで、全員新しい気持ちで新学期を開始しました。新1年生歓迎会を4月9日夕刻にカフェテリアで開催、2年生のリーダー振りもあざやかで、あちこちに笑いが一杯。又、食欲は若さの象徴通り。4月27日にはナイチンゲール特別講演会開催。県内から200余の看護職の方が参加され学生と共に大きな学びをしました。頼もしくなったと実感させられるのは平成7年組。ひたむきで熱心な前向きエネルギー満杯の8年組。学生も教員も全員健康で自分らしく、この一年を!!

◇理学療法学科

新入生歓迎24時間耐久リレー!

4月19日(金)午後5時より1年対2年の24時間耐久レースが行われた(因みに雨が降って寒い日でした)。夜中懐中電灯をぶら下げて黙々と走る者。こたつで暖まっている者。レク。泥酔者。サラダ煎餅。バレーボール。ディスコタイム。エロじい。泣き上戸etc。

親睦が深まったのか溝が深まったのか定かではありませんが伝統行事になる予定??

皆さん大変お疲れさまでした。

現在1年生103名、2年生103名、PT教員11名。

◇作業療法学科

103名の新入生諸君、さあ、学ぼう

4月12日に新二年生が待ちに待った新入生大歓迎パーティーを開いてくれました。不安な気持ち一杯の新入生は、この頼もしく、又優しい先輩達に囲まれて歩み始めました。関東平野の裾野の広々としたキャンパスで、共に学び語りあいましょう。心の痛みはまず相談あれ。勉学は自分自身でやるしかありません。しっかりと育ちつつある二年生、一年生をリードしていきましょう。又又二年生主催でお花見をするとの事。一年生歓迎イベント盛りだくさんのOT学科です。

◇言語聴覚障害学科

4月から本学科の教員の数が増え、4名から13名へと、一挙に3倍になりました。講師以上の新しい教員の名前、職位、専門領域は以下の通りです：大石敬子（教授、小児言語障害）、藤田都代（教授、失語症）、相野田紀子（教授、構音障害）、城間将江（助教授、聴覚障害）、飯塚直美（講師、小児言語障害）。新しい助手は、古谷二三代、渡辺真澄、中村淳子、田中佳代です。

今年度は、臨床実習の拠点となる言語聴覚センター（来春オープン予定）の開設準備に、学科の総力を挙げて取り組みます。

◇放射線・情報科学科

4月8日（月）の入学式で放射線・情報科学科は男子79名（66.4%）、女子40名（33.6%）、計119名の新生を迎えました。教員、先輩学生とともに新生生の皆さんの入学を心から祝福し、歓迎いたします。入学式では皆さんは本当に緊張の面持ちでしたが、そろそろ学生生活にも馴れてきた頃と思います。2年生のオリエンテーションでは国家試験に関して都築先生に楪を飛ばしていただきましたが、こちらはそろそろ入学時の浮かれ気分を脱して、人生の充実した時となるよう本腰を入れて勉学に励んでもらいたいと思います。

◇学生のみなさんへ おねがい 宮尾洋子

開学2年目、フランス語、ドイツ語、スペイン語、中国語それぞれⅠ・Ⅱが開講。時間割のやりくりにご苦労した以上、終りまで落さずにがんばってください。

英語は全部で91クラスです。ネイティブスピーカーの先生方も、アメリカ、イギリス、カナダ、オーストラリア、フィリピンと多様な文化的背景を持った方々です。積極的にアプローチして、英語のコミュニケーションに慣れ、異文化を学んでください。もちろん日本のことも色々紹介してあげてください。

◇医学教育センターの目指すところ

医学教育センターは本学の学習課程の中で、医学に関連する部分を担当するとともに、各学科の掲げた教育目標の達成のためのお手伝いをする機構であります。

本学の様に多方面にわたる医療系学生の教育にあたっては、各学科の要望に応じた教育内容を考慮しつつ、大学としての学問の厳しさも同時に伝えられる講義を行うこと、現在の学問レベルと医療内容を教えることも必要であろうと思います。

本学の将来を考えた時、卒業生が研究活動にも参加出来る様な基礎を持つ必要があり、そのためのセミナー等も随時計画したいと考えています。

教員紹介

（毎号、各学科・センターから1名ずつご紹介頂きます。）

①所属・職位、②生年、③出身校、④専門分野、⑤直前の勤め先、⑥主要著書・論文、⑦本校における担当科目、⑧趣味。

福島道子（ふくしま みちこ）



①看護学科・助教授、②1949年、③東洋大学大学院、④地域看護、特に在宅高齢者介護の支援ネットワーク、⑤日本赤十字武蔵野女子短期大学、⑥転換期の福祉政策—在宅サービスをめぐる検証、ミネルヴァ書房、1994年（共著）、

都市社会の老人介護に対するサポートシステムづくり—インフォーマル・サポートの実態と可能性、保健婦雑誌50-3、1994年（単著）、⑦健康保健概論Ⅱ、看護過程Ⅲ、地域看護学概論、保健相談指導論Ⅰ・Ⅱ、看護過程Ⅵ、地域看護実習、⑧恥かしくも無趣味が趣味で、就寝前の入浴と休日のお昼寝のとき至上の幸せを感じますのでこれが趣味ということにします。

福田恵美子（ふくだ えみこ）



①作業療法学科・助教授、③東北大学大学院医学系研究科障害科学専攻、④作業療法、⑤自治医科大学附属病院、⑥発達障害（共著）（協同医書）、二分脊髄の社会生活能力の研究、⑦作業技術学、発達障害児の作業療法、⑧書道、筆道、自然散策、落語を聞くこと。

飯塚直美 (いづか なおみ)



①言語聴覚障害学科・講師、②1961年、③東京大学教育学部教育心理学科・国立身体障害者リハビリテーションセンター学院、④小児の言語・コミュニケーション障害、⑤横浜市北部地域療育センター、⑥症状分類B群（音声発信困難）リスク児について、⑦小児言語障害学、同演習、臨床実習Ⅰ・Ⅱ、⑧時代劇を見ること（特に鬼平犯科帳のファン）・音楽鑑賞・下手ですが、歌うこと・あちこち歩きまわること。

金場敏憲 (こんば としのり)



①放射線・情報科学科・助教授（副学科長）、②1951年、③駒澤短期大学専攻科、東海大学、④医用画像技術学、⑤駒澤大学、⑥新半世界大百科事典、Auto Mobile Film Changer、ドイツ水平線とオルビトメアタルラインの検討、⑦医用画像技術学及び実験、臨床実習、医用放射線機器工学等、⑧ひととひととの交流（でも、今は大学創りが趣味？かな）。

David Butler (デイビッド バトラー)



①語学教育センター・助教授、②1941（昭和16年）、③Oxford University (Balliol College)、④Modern History、⑤グラナダ大学、埼玉大学、⑥Las relaciones culturales entre las Islas Britanicas y el Mediterraneo desde la Antigüedad: Nuevo enfoque revisionista、⑦英語: Communicative Strategies、⑧太極拳、フライフィッシング。

間藤方雄 (まとう まさお)



①医学教育センター・教授、②昭和4年8月23日、③群馬大学医学部、④解剖学（発生学・脈管学）、⑤自治医科大学、⑥「現在の産婦人科学」「ウォルフ人体解剖学アトラス（分担）」等々、（綜説）脳のスカベンジャー細胞（実験医学）1992、（原著）Involvement of specific macrophage lineage cells surrounding arterioles in barrier and scavenge function in brain cortex 1996, PNAS 他、⑦解剖学（PT及びOT）、⑧日本酒鑑定、自然観察、Dx Listener。

サークル紹介

「少林寺拳法大学支部」ついに認可される!!

少林寺拳法部は、今まで近く的那須大田原支部道場に皆が通い練習してきましたが、春休みに少林寺拳法本部から正式に認可され、「国際医療福祉大学支部」として活動することになりました。その背景には大田原支部道場の支部長や道場に通う人たちの親身になっての援助がありました。

少林寺拳法は心と体を鍛えることで「真」に強くなるとういうものです。「技」は護身術として最適で、自衛隊でも訓練されています。大学支部として新たに出発しますので、やる気のある人、待ってます。

リレーエッセイ

人にやさしいテクノロジー

金井-Pak 雅子

つい先日、言語入力すると手話の映像が作れるコンピュータソフトの紹介があった。このソフトが一般化されれば、聴覚の不自由な方々と意志の疎通をはかることが可能になる。又、バーチャルリアリティのプログラムを用いて、身体機能の回復訓練をすることも可能となってきた。テクノロジーの発展により人と人がハンディを越えて理解しあえたら、こんなにすばらしいことはない。宇宙開発も不用ではないが、そのテクノロジーが弱者に、ハンディを持った方々にもっと活用されたら。それらを現実にするのは我々である。

次回執筆：佐藤一司（管理課情報システム室）

編集後記

平成8年度の最初の「IUHW」をお届けします。今年度も2か月に1回の発行を目指していますが、年6回の発行はなかなか大変です。今年度は教員が増えたので、広報委員も倍増しました。新しい布陣で、常に新鮮な情報を送りたいと考えています。

「正確な情報をタイムリーに学生と教職員に伝達すること」を目的に、しばらくの間は、同じスタイルを踏襲しつつ、さらに工夫を加えて編集する方針です。読者の皆様もアイデアをお寄せください。

(伊藤元信)

